

文化のいぶき

2017年 9月号 Vol. 139

- 発行：狭山市文化団体連合会
- 所管：狭山市役所
市民部市民文化課

第26回 青少年文化体験フェスタ 開催される

7月1日(土) 狹山市立広瀬小学校で開催、延べ341名(小・中学生)の体験参加がありました。今年は新たに「囲碁」講座が加わり、好きな糸で布織り・日本舞踊・民謡太鼓の合奏・和太鼓・フラダンス・お習字・おこと・いけばな・オカリナの演奏・子ども舞踊・ヒップホップダンス・世界の言葉で遊ぼう、の13講座と中学生ボランティア講座を体験してもらいました。

◆体験者の感想より

- ◆おことをひくのはむずかしいけど楽しかった。何度も何度もやりたい。(おこと)
- ◆習字で形をくずして字を書くのが初めてだったので、とても楽しかった。(お習字)
- ◆すごく上手にできだし、お花の名前もていねいに教えてくれたし大満足です。(いけばな)
- ◆同じところを何回もくりかえしてくれたので楽しくおどれた。(ヒップホップ)
- ◆勝っても負けても、友達と話し合ってやるのが楽しかった。(囲碁)
- ◆英語と日本語の言葉しか知らないので、かんこくやフランスとか、いろいろな言葉が知れてよかったです。(世界の言葉)



初めての囲碁講座

青少年文化体験フェスタを終えて

第26回となる青少年文化体験フェスタが、多くの皆様のご協力によって、無事終了できましたことに心より感謝申し上げます。各小学校・中学校には、募集用紙の配布や回収などでご協力をいただきました。特に会場校である広瀬小学校には、準備段階から当日まで、大変お世話になりました。また、団体指導者やスタッフの皆さん、中学生ボランティアには多大なるお力をいただきました。



例年の課題であります「体験児童の車での送迎」については、PTAボランティアの皆さん、交通安全協会の方々が、安全に的確に送迎車を誘導して下さり、混雑・混乱はありませんでした。皆様のご協力に改めて御礼申し上げます。

今回は、「囲碁」講座の参加があり、新しい分野に挑戦する体験者の笑顔が見られました。また、毎回希望者の多い「おこと」「布織り」講座は、午前午後の2回開催することで、多くの子供達に体験の場を提供できました。各団体すべて指導内容に工夫がなされ、充実した教室が展開できました。体験終了後の子ども達の顔がとても満足気で、体験者からは、またやってみたい、とても楽しかった等々の感想が多く、主催者として嬉しく思います。

今後も、開催校の環境条件(駐車スペースなど)を考えながら、より多くの参加者を受け入れられるよう、また、各講座とも楽しく体験してもらえるよう工夫をして参ります。

第26回 青少年文化体験フェスタ実行委員会